

えひめスイーツコンテスト 2024 で

新宮茶を使った 媛色タルトが 県知事賞受賞



清水彩花さん

石川楓華さん

愛媛産農産物のPRと消費拡大を目的としたスイーツコンテストで、本市出身の石川楓華さんによる作品が愛媛県知事賞を受賞。2025年 うつぼ屋（松山市）から商品化予定。

スイーツコンテストで受賞

10月に開催された「えひめスイーツコンテスト」に、同じ愛媛調理製菓専門学校の水水彩花さん（松山市）と出場し、二人の出身地の特産品「伊予柑」と「新宮茶」、そして愛媛の銘菓「タルト」を掛け合わせた作品で、「愛媛県知事賞」を頂きました。

入学4か月目の挑戦

コンテストのテーマ「お土産スイーツ『新・愛媛の銘菓』」から、愛媛土産の定番「タルト」を作ろうと考えました。でも、入学4か月目の私たちは、まだタルトの作り方を知りません。更に、応募する作品は、商品化を想定して原価を抑えつつ、量産できるレシピにする必要があるなど、前途は多難でした。

先生や学友たちに助けをもらいながら、夏休みの全てを費やして完成させた作品は、新宮茶（緑）・白あん（白）・伊予柑（黄色）で県旗を表現し、愛媛と特産品のことを知ってもらいたいという思いを込めて「媛色タルト」と名付けました。

媛色タルトは、無事一次審査を通過し、日本を代表するパティシエ・鎧塚俊彦シェフらが審査員を務める最終審査に進みました。最終審査のステージに立った私たちは、媛色タルトに懸けた思いの全てを審査員のみなさんに伝え、試食してもらいました。

結果は「愛媛県知事賞」。審査員のみなさんに、私たちの思いが届いたことがうれしかったです。地元四国中央市の食材を使った作品が評価されたこともうれしかったです。

夢を追い続けて

子どもの頃から夢はパティシエ。料理人の両親の下で育った私は、小学生の頃からお菓子づくりをしていました。中学、高校は吹奏楽部で練習に明け暮れる日々でしたが、クリスマスやハロウィンには、手づくりのお菓子を部活の仲間や友人にプレゼントしていました。私が作ったお菓子を「美味しい」と食べてくれた友人のおかげで、夢に向かって進み続けています。

コンテストの受賞を知った友人から、たくさんのお祝いの言葉や「食べたい」という声を頂きました。両親からも「出来た娘だ」と言ってもらえて、この道に進んで本当に良かったと思います。

お菓子でみんなを笑顔に

私が作ったものを美味しいと言って食べてくれる人たちの笑顔が好きで進んだ道です。もっとたくさんの人にもっと美味しいお菓子を食べてもらいために、これからも学びと挑戦を続けていきます。

1月には愛媛のNO.1パンを決める「パングランプリ愛媛」が開催されます。清水さんと二冠を目指して頑張ります。

愛媛調理製菓専門学校 製菓・製パン科1年

ふ う か 石川楓華さん

PROFILE

2005年 上分町生まれ

三島小→三島東中→三島高校

調理師の両親の影響で幼少期からお菓子づくりを始める。オープンキャンパスで学生が楽しそうに調理する姿を見たことがきっかけで、愛媛調理製菓専門学校に進学。現在、製菓衛生師と調理師の免許取得を目指して勉強中。